

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和2年5月20日発行

No.134

青かえでが美しい写真です。田畑の仕事も始まり、
ふつと吹く風も心地よい季節ですね。あたり前のように
そこに在る自然の美しさとその有難さを感じます。

小笠原美雪



(協本陣奥谷)

南木曽町観光協会事務所開設しました 専務理事 樋口 信雄

桜の花が例年より早く咲き始めた妻籠の春、4月1日 南木曽町観光協会は旧JAの建物を改装し、一般社団法人「南木曽町観光協会」としてスタートしました。

妻籠地区の皆様方には何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。南木曽町からの出向職員をはじめ、新進気鋭の新規採用職員と4名体制で業務の事業をしてまいります。国際色豊かになった妻籠宿を拠点にして、町内全体の観光振興事業を展開したいと思います。又、南木曽駅観光案内窓口事業に加えて、新たに南木曽駅の切符販売業務も南木曽町からの受託業務として新たに管理運営をしてまいります。旅行や買い物でお出かけの際は、南木曽駅の切符販売窓口を是非ご利用ください。皆様からご要望のあった、ゴミ袋の販売も始めました。町の観光情報の発信基地として、近い将来、地場製品のアンテナショップとして、近隣住民や高齢者の利便性も踏まえ生活便利品も取り扱っていきたいと考えています。妻籠宿を訪れる外国人観光客の日本文化を体験するコーナーも新設しました。

皆様が気楽に集える施設になれば幸いです。妻籠の座右の銘である「初心忘るべからず」の心持で、コロナに負けない観光事業に日々努力してまいりますので重ねてよろしくお願いいたします。



〈左から 山田・樋口・置名・坂家〉

令和2年(公財)妻籠を愛する会度事業計画

1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
- (6) 防災施設の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施(文化財防火デーほか)

- (8) 全国町並みゼミ等研修会への各役職員の参加・参画

2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「立場茶屋」(一石柝牧野家) 建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道沿線の景観整備 松枯れ対応
- (4) 所有建造物の維持管理・活用及び貸与等
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託・改修の推進

3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「ふれあい館」の管理運営
- (2) 「四阿」(妻籠城址・白木改番所) の維持管理
- (3) 休息施設(ベンチ等)の維持補充
- (4) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (5) 道標・説明板の見直しと更新
- (6) 民俗資料の収集・公開・活用

4、文化の向上を図るための調査・普及事業

- (1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
- (2) 第53回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 第45回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曾に相応した文化の伝承と開発・研究

5、文化財と一体をなす自然環境の保護事業

- (1) 保有山林地の維持管理(スナジ・西山・尾又)
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
- (4) 妻籠城址の環境整備
- (5) 外来動植物の駆除

6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託および支援事業

- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠小学校の管理

7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曽風景街道推進協議会との協働活動
- (2) 木曽街道連絡会の事業の推進
- (3) 関係団体との交流(国内外)
- (4) 南木曽町観光協会との協働活動

8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用

イロハモミジを一石柵に移植しました！

常務理事 今井 啓 文

もう14、5年前になるでしょうか。観光協会でミツバツツジと共にイロハモミジを宿場内や中山道沿い、第二駐車場下の河川敷に植栽してきました。

その折、枯れた時の植え替えが出来る様にと仮植しておいたものの残りが10本以上有、今回それを一石柵に植栽する作業を行いました。

モミジが大きくなり見頃になる為には80年以上掛かると言われており、今まで植えたモミジも毎年剪定したり肥料を与えたりと手間を掛けてきました。

15年も経つと枝が屋根よりも高くなり人力だけでは扱えず、当日は奥田工業から機械と人手を数名出してもらい、妻籠からも役員の他、若い方々にも協力をお願いしての作業となりました。

剪定で枝を短く切り、機械を使って、根と土を落とさない様に慎重に掘り起こし、植える際にも根に合わせた穴を掘り、手間と時間を掛ける作業となりました。途中からは日も当たり、上着を脱ぐ陽気となり汗ばむ程でした。

機械が入り昼過ぎには終わるだろうと思っていた作業も夕方まで掛かり、おにぎり二つとカップの味噌汁という素食にもめげず、作業して下さった皆様に感謝致します。また、日頃の作業の折にも時間をさいて快く協力して下さいる若い方達にもお礼申し上げます。

ご存じのとおり、春の一石は花桃や桜、ミツバツツジと、桃源郷の様に美しくなりますが、秋には紅葉したイロハモミジに感動していただける風景になることを願っております。



〈4月少しだけ新芽が！〉



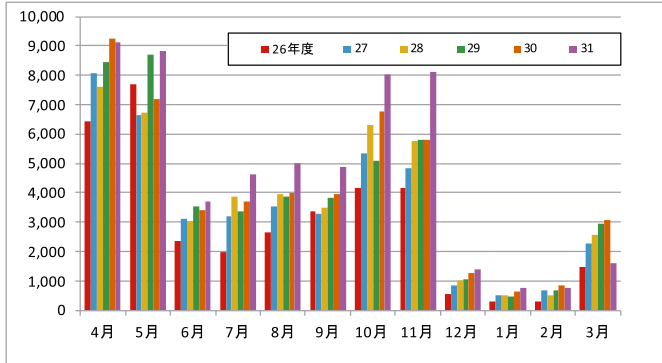
〈4月23日の一石柵立場茶屋前〉

一石柧立場茶屋ハイカー情報

中山道 馬籠峠を越えるハイカー調査（総通行者） 3月31日現在

	26年度	27	28	29	30	31
4月	6,427	8,090	7,608	8,435	9,255	9,117
5月	7,689	6,650	6,731	8,689	7,198	8,826
6月	2,382	3,116	3,038	3,549	3,392	3,702
7月	1,992	3,194	3,870	3,386	3,686	4,639
8月	2,645	3,547	3,948	3,886	4,014	5,013
9月	3,377	3,297	3,476	3,850	3,952	4,888
10月	4,170	5,344	6,315	5,098	6,760	8,044
11月	4,180	4,827	5,748	5,789	5,800	8,111
12月	574	835	1,013	1,082	1,251	1,413
1月	311	532	533	489	621	782
2月	290	666	500	685	835	771
3月	1,466	2,288	2,593	2,967	3,083	1,601
計	35,503	42,386	45,373	47,905	49,847	56,907

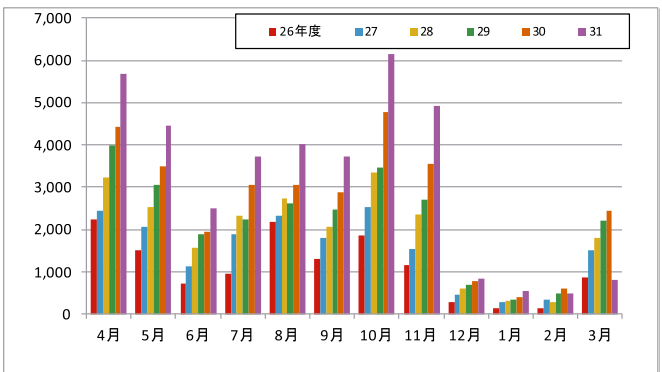
(単位:人)



中山道 馬籠峠を越えるハイカー調査（海外者）（内数）

	26年度	27	28	29	30	31
4月	2,252	2,440	3,229	4,000	4,413	5,668
5月	1,495	2,056	2,532	3,053	3,501	4,442
6月	734	1,130	1,572	1,890	1,958	2,506
7月	947	1,883	2,322	2,236	3,051	3,731
8月	2,171	2,313	2,723	2,615	3,060	4,007
9月	1,315	1,796	2,055	2,465	2,889	3,723
10月	1,856	2,518	3,352	3,458	4,784	6,150
11月	1,160	1,537	2,349	2,691	3,564	4,923
12月	295	460	611	690	765	827
1月	142	279	322	345	413	548
2月	149	354	294	495	597	485
3月	866	1,504	1,799	2,207	2,431	819
計	13,382	18,270	23,160	26,145	31,426	37,829

(単位:人)



外国人は米・豪・EU圏でアジア系はごく少数。
調査場所：一石柧立場茶屋（公財）妻籠を愛する会

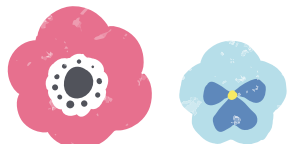
馬籠峠を越える「てくてくの人々」 5.6万人を超える！

理事長 藤原 義 則

平成21年4月に一石柧立場茶屋を無料休憩所として開放して以来、10年が経過しました。この10年間の総括です。

自分の足で馬籠峠を越える人が、平成21年度は35,400人、平成31年度は56,900人で1.6倍に増加しました。うち、外国人は5,800人が37,800人で6.5倍となりました。これは、過去10年間継続して行ってきました、中山道に注いだ「おもてなし・環境整備」の成果であると評価できます。道標の整備、洋式トイレの設置、一石柧立場茶屋での湯茶接待、クマ除けの鐘の設置等々です。

重伝建「妻籠宿・中山道」のブラッシュアップのため今後も継続して行い、「がっかり」と表現される評価を受けないよう活動してまいりますのでご協力をお願いします。



田原家がリニューアルしました！



宿 場 暦

- 2月 1日：第44回妻籠冬期大学講座(57名参加)
 4日：氷雪の灯まつり準備(氷つくり～7日毎日
 木曽町へ2名)、インバウンドヒアリング
 (リクルート)
 8日：第13回氷雪の灯まつり(木曽町へ2名)
 13日：変更認定(施設の貸与)
 10日：妻籠宿保存地区保存審議会(理事長・常務)
 16日：令和元年度第4回観光地点パラメータ調査
 18日：観協お雛様飾りつけ(ふれあい館)
 19日：田原家・櫻井家改修工事現地説明会
 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」133号発行
 22日：景観を考える講演会(開田高原・理事長)
 25日：聖火リレー南木曽町実行委員会(理事
 長)、(ナショナルトラスト常任理事会:中止)
 26日：フォレスパ木曽観光懇談会(理事長)、
 県立大学学生来宿案内(理事長)
- 3月 2日：令和2年度元気づくり支援金ヒアリング
 (合庁・理事長)
 4日：(日本遺産「木曽路」事業検証・検討部会:
 中止)
 6日：三役会、(ナショナルトラスト理事会:中止)
 9日：妻籠宿連絡調整会議(財団・町・教委・観協)
 11日：(木曽風景街道推進協議会中山道研修:中止)
 12日：イロハモミジ植栽作業(仮植を一石へ)
 14日：三役会
 16日：南木曽町博物館協議会(理事長)
 17日：広報部会、(妻籠観光協会総会:中止)
 18日：理事会、(東信州中山道連絡協議会視察
 来宿案内:中止)
 20日：(木曽地域観光ガイド研修会:中止)
 23日：統制委員会
 27日：評議員会
 30日：三役会、妻籠宿案内人の会役員会
 31日：山陽放送撮影
- 4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付、濃飛バス運行
 (～11月末:4月8日から運休)
 3日：倉科様祭礼(三役)、(五輪・パラリンピッ
 ク聖火リレー・妻籠宿内:中止)
 8日：理事会
 10日：評議員選定委員会
 17日：三役会(コロナウィルスによる駐車場体制
 について)
 18日：(名城大学デイハイク:中止)
 15日：子安観音祭礼(役員参拝のみ)

- 20日：統制委員会
 22日：広報部会
 24日：会計監査
 25日：駐車場閉鎖(～5月17日)
 ※2月下旬より新型コロナウィルスの影響を受け各
 種会議・行事等中止相次ぐ

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめま
 しょう!

統制委員会審議事項

- 2月20日
 ・簡易型河川監視カメラの設置(県:田島橋上流) 1件
 ・砂防堰堤補修工事(県:大妻籠～下り谷) 1件
 ・雨樋・屋根修理(恋野:子規模修理) 1件
 ・水道給水管修繕工事(町:下町田原家) 1件
 ・物置取り壊し(橋場) 1件
 ・告知看板設置(教委:聖火リレー) 1件
 ・車庫修繕(愛会:尾又) 1件
- 3月23日
 ・バス停の設置(濃飛バス:第1P) 1件
 ・通信ケーブル架設作業(CTC:細野山) 1件
 ・倉庫兼車庫新築(橋場) 1件
 ・支線撤去・新設(中電:橋場) 1件
 ・立木伐採(下り谷) 1件
 ・筍伐採(関電:妻籠地区) 1件
 ・群状択伐(関電:吾妻橋～一石) 3件
 ・通行止看板設置(教委:聖火リレー) 1件
 ・その他:松枯れ・枯損木(町:事後届) 1件
- 4月20日
 ・表示板の更新(町:馬籠峠頂上) 1件
 ・重伝建説明看板の修繕(教委:第1P) 1件
 ・群状択伐(関電:馬籠峠・大妻籠) 2件
 ・地質調査・調査ボーリング
 (リニア山口:大崖砂防公園) 1件
 ・その他:松枯れによる枯損木伐採
 (町:城山入口:事後届) 1件

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)



第44回妻籠冬期大学講座 2020. 2. 1(土)

木曾観光連盟事務局長 楯 憲 吾

今回初めて参加させていただき、恥ずかしながら44回にも渡って行われていることを初めて知りました。地域の皆さんで身近に関わる知識や課題を共有し、それを共通の話題として日々の生活を豊かにする、このような取り組みは地域の繋がり、地域としての意志確立に大きく役立っていると感じます。

前半に行われた作家、小俣麦穂さんによる日本の神様のお話は、日本神話を体系的にひも解いて説明される中で、木曾と周辺の神社に祀られている神々の話に至り、私たちがどのような神様を礼拝しているのか、なぜ、その神様が祀られているのか、などを解説され、身近な中に興味、探究心をくすぐられる事柄があるというお話でした。

後半の東京大学教授、窪田亜矢さんには、妻籠にも関係の深いリニア鉄道を中心として、公共工事の考え方、進め方の解説と課題を分かりやすく講義いただきました。3都市を結ぶスーパーメガリユージョン構想や土地収用法の説明、その問題点など、普段の生活では係わりが薄い内容について分かりやすく解説され、公共性を示して事業を進めるためには、安全性、地域への効果などについて、地域の皆さんに十分な説明を行い、十分な話し合いの場を設ける必要があるというお話でした。

両講座ともに深く興味引かれました。今回のバラエティ豊かな二つの講座を見ても、これまでの44回の歴史の中で、様々な角度から地域の皆さんに話題と知識を提供されてきたことを窺い知ることができます。

今後も魅力ある講座を提供いただけることにご期待申し上げます。

大妻籠 伊藤 正 博

最初に失敗したと思ったのは広報委員の隣に座ったことで、直ぐこの原稿を頼まれてしまい、おかげでしっかりと内容を把握しなければならなくなったので、好しとしよう。

第一講は歴史小説・児童文学作家で、松本在住の小俣麦穂氏から「神社おかしー日本の神様ー」と題し、古事記や日本書紀に表れる神話の世界の神々について話を聞いたが、知っている事も改めて聞くと、神々も騙したり殺したり誘惑に負けたりと、人間の本質を書いているし、歴史は勝った者の立場で書かれていることを再認識。尾又の「おしゃぐじ様」について言及されたので、妻籠の住民でも殆どその存在や場所を知らないため、発電所の前近くのあることを発言させてもらったが、神話からの神様だということに驚いた。

第二講では、東大特任教授の窪田亜矢氏が「現代の巨大公共事業について」という題で話され、あまり聞けない内容で良かった。

土地収用法で「公共の利益のため」という言葉があり、公共とは何か?と、問いを持つことが大事であり、大多数の無関心者は賛同と数えられ、少数の関心者は無視されたり変人と思われる…、という話や、公共事業を望む人達には様々な思惑があり、色んな思惑の中で、重なり合う合意部分だけで物事を進める危険性を指摘されたと解釈した。リニア新幹線も、別の視点から見ることができた。

お二人の講師に泊まって頂き、色んな話をさせて頂けたのは、民宿親父の役得だった。

